



**マハーバーラタ (06)**

カウラヴァ (クル) ・パーンダヴァ (パンドウ) 家の系図 ,  
古代インド地図 ,

マハーバーラタ (06) / [10] 夜襲の巻 (サウプティカ・パルヴァン)

0001. アシュヴァッターマンの決意 ,

0002. 体内に宿ったシヴァ神 ,

0003. 真夜中の大殺戮 ,

0004. 追撃 ,



マハーバーラタ (06) / [11] 婦人達の巻 (ストリー・パルヴァン)

0001. ドリタラーシュトラ王の嘆き,

0002. ガンダーリーの悲しみと瞋り,



0001. 兄殺し,

0002. 苦行者の道を決意するユディシュティラ,



0003. 聖仙たちの訓戒,

0004. ユディシュティラ、王位に就く,

0005. 王とカーストの義務について——ビーシュマの教訓 (一) ,

0005. 0001. / 王は優しすぎてはいけない ,

0005. 0002. / 王は迅速に行動せよ,

0005. 0003. / 王の誕生,

マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0005. 0004. / すべてのカーストは血で結ばれている ,

0005. 0005. / マーन्दार्トリ王の問い ,

0006. 王国について——ビーシュマの教訓 (二) ,

0006. 0001. / 王という存在 ,



マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0006. 0004. / 王とバラモンの関係 ,

0006. 0005. / バラモンのために戦う王は至福の地に到る ,

0006. 0006. / 烏の告発 ,

0006. 0007. / 大臣の選び方 ,



0007. 戦争について——ビーシュマの教訓 (三) ,

0007. 0001. / 弱者は偉大な存在である ,

0007. 0002. / 戦争の方法 ,

0007. 0003. / 戦場で流される血は功德をもたらす ,

0008. 忠臣について——ビーシュマの教訓 (四) ,

0008. 0001. / 困窮したコーサラ国王 ,

0008. 0002. / 内部の敵,

0008. 0003. / ジャッカルに生れ変わった王,

マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0008. 0004. / 怠惰になった駱駝 ,

0008. 0005. / 葦と愚かな犬の教訓 ,

0009. 正義について——ビーシュマの教訓 (五) ,

0009. 0001. / 裁きの杖 ,

0009. 0002. / 行為に棄てられた王,

0009. 0003. / 希望の正体,

0009. 0004. / 猫と鼠の会話 ,

0009. 0005. / 雛と王子 ,



0009. 0006. / 獵師と飢えた聖仙 ,

0009. 0007. / 鳩と狩人 ,

0010. 罪について——ビーシュマの教訓 (六) ,

0010. 0001. / ジャナメージャヤ王の遍歴 ,

マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0010. 0002. / 禿鷹とジャッカル,

0010. 0003. / 傲慢なシャールマリ樹,

0010. 0004. / 罪の根源,

0010. 0005. / 悪しき人と賢明な人,

マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0010. 0006. / 剣の誕生 ,

0011. 友について——ビーシュマの教訓 (七) ,

マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0011. 0001. / 恩知らずなバラモンと鶴の王 ,

0011. 0002. / 欲望からの解放 ,

マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0011. 0003. / 存在しないものに悩むことはない ,

0012. 生命について——ビーシュマの教訓 (八) ,

0012. 0001. / 生命の本質 ,

0012. 0002. / 体内の宇宙 ,



マハーバーラタ (06) / [12] 寂静の巻 (前) (シャーンティ・パルヴァン)

0012. 0003. / 魂の属性,

0012. 0004. / 正しい行い、悪い行い,

